

2024年度どんなことに取り組んだ？

組合員のみなさんも
ご参加ありがとう
ございました！

もっといい明日へ
超えてく

パルシステムの 環境・エネルギー政策への

アクション！

6月4回「キラカエルチラシ」
もどうぞご覧ください



パルシステムの
サステナビリティ
サイトはこちらから



記録的な暑さとなった2024年。海のなかでも温度が高い状態が続き、パルシステムの産直産地である沖縄県恩納村沿岸でも海の生態系を支えるサンゴがダメージを受けた知らせが届きました。地球環境の変化はさまざまなところに影響を及ぼしています。

パルシステムは2023年に「環境・エネルギー政策」を策定し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現をめざしています。

クイズに答えて応募すると
抽選で20名に

**プレゼントが
当たる！**

(ヒントは誌面の中に)



応募された方の中から抽選で20名に『無茶々園の寒天みかんゼリーセット』をプレゼント！
当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。(8月上旬発送予定)

Q1 パルシステムのカタログ袋や商品の
まとめ袋は回収してリサイクルしています。
2024年度の回収率はどれでしょうか。

① 約90% ② 約50% ③ 約30%

Q2 パルシステムグループのEVトラック(電気の力で走行するトラック)は
何台あるでしょうか。(2025年3月末時点)

① 15台 ② 8台 ③ 3台

Q3 パルシステムが目指す「自然共生社会」では
何を保全する取り組みを行っているでしょうか。

① 森と海の保全 ② 森・里・川の保全 ③ 森・里・川・海の保全

昨年から6ポイントUP！
回収された袋は
資源として活用されます。

私たちのくらは、自然循環の
恵みに支えられている！

クイズの答えは中面の欄外下をご覧ください

応募方法

二次元コードを読み取ると応募フォームに
つながります。そちらよりご回答ください。

※二次元コードのフォームで応募できない場合は、
下記メールアドレスにて応募ください。



件名に「パルシステム6月3回チラシクイズ
プレゼント申込」と記入のうえ、全クイズの解答
番号、組合員番号、パルシステムに登録してい
る氏名と電話番号を記載してください。

送信先 kankyousitu@pal.or.jp

応募期間 2025年7月6日(日)まで

脱炭素社会へのアクション!

省エネはお財布にも地球にもやさしい!
家庭での省エネも推進しています。

“ガマンせずに”がポイント!
みんなの
ほかほか省エネライフ、
大集合～総アクション数
21,880件!

家庭から排出される温室効果ガスの量が、この20年余りで大幅に増加しています。そこで、特設Webサイトをオープンし、がまんせずにエネルギー消費を減らしながら、心もからだもほかほかする省エネアクションを提案するキャンペーンを開催しました。

エネルギー消費量の削減は家計の負担も減らせます。くらしの中のちょっとした心がけでエネルギーを大事に使いましょう!



組合員の声
冷蔵庫の裏のフィルターを掃除した。
凄く効き目があつた!

組合員の声
窓から熱が逃げると聞いていたので
思い切って内窓を設置しました。半信
半疑でしたがその効果は凄いです!

6つのアクションで行動を起こしたら、やったよ
をクリック! みんなで楽しみながら省エネに挑
戦しました。

循環型社会へのアクション!

生産から加工、流通、消費、廃棄に至る
まで限りある資源の効率的な利用や3R
(リデュース・リユース・リサイクル)の取
組みを進めることにより、環境への負荷
を可能な限り減らします。

食品ロス削減で
子どもたちを笑顔に。
ごちそうさま
365日アクション

2024年7月19日から9月1日までの特設Webサイトで、
食品ロス削減の宣言へのクリックや、取り組み投稿が10円
の寄付につながるアクションを実施しました。

「食べ残しをしなかった」「フードドライブやお裾分けし
た」などのアクションで、ユニセフに 252,900 円を寄付で
きました。寄付は、世界
の栄養不良の子どもた
ちに治療用ミルクを届ける
ために活かされます。
今後も、できることから
食品ロス問題に取り組
んでいきましょう!



組合員の声
食品の袋の表側に、賞味期限を大きめ
に書いておきます。賞味期限が過ぎた
ものは冷蔵庫にはありません。



組合員の声
食事を作る前に冷蔵庫に入っている残り
物、期限の迫っているものを全部出す。残
り物が意外と多かったです。冷蔵庫から
出し忘れり廃棄するものが減りました。

組合員の声
パルシステムの注文をする時は、まめ
バルで残っているものを確認し、次回
配達の際も確認してから、注文する
ようにしています。同じ物を注文し重複
することはありません。



自然共生社会へのアクション! [森・里・川・海保全]

気候変動や人間活動の影響で、急速に失われてい
る生物多様性。パルシステムでは、自然と共生する
豊かな社会の実現に向け、ネイチャーポジティブ(※)
に取り組んでいます。

※ネイチャーポジティブ: 生物多様性の損失を食い止めるだけでは
なく、回復軌道にのせること

人類も絶滅するのか?
恐竜から
気候変動をまなぼう!

6月22日(土)に「恐竜博士に聞こう! 化石発掘で気候の
変化がわかる?」を開催し、会場で35組92名、オンライン
で360組の参加がありました。基調講演は北海道大学総
合博物館副館長・教授で古生物学者の小林快次先生をお
招きし、「恐竜と気候変動問題」というテーマでお話した
できました。



組合員の声
大好きな恐竜と、地球と人間の
危機の結びつきは、とても考えさ
せられる内容でした。

いま海でおきている問題は?
生きものたちから
教えてもらおう!

3月1日(土)に福島県にある環境水族館「アクアマリンふくしま」
にて「水族館から海の世界といのちについて考えよう!」を開催しました。
会場に招待された組合員46組125名のほか、オンラインで56名が参加。
アクアマリンふくしま飼育展示統括部長の岩田雅光さんから、私たち人間が
出している海のプラスチックゴミ問題や、たくさんの温室効果ガスの影響で地
球の温暖化が進み、地球の7割を覆う海も温かくなっていると話されました。



組合員の声
鳥のおなかからプラスチックが出てきた
映像など具体的なお話もあり、わかりや
すかったです。今後は道でも落ちているゴ
ミを拾うように心がけたいと思いました。



各地域での取り組み

パルシステム東京 脱炭素社会

「栃木県那須野ヶ原小水力発電所見学ツアー」

ふだん使っている電気も食べ物と同じように生産者の想いや
現状を知り、一緒に再生可能エネルギーをすすめていくこと
を目指しているパルシステム東京。パルシステムへ電力供給
をしている那須野ヶ原土地改良区連合の百村第二発電所、新
青木発電所や付随する設備の見学に組合員15名が参加。発
電の現場を見学することで脱炭素の要となる再生可能エネ
ルギーについて深く学ぶ機会となりました。



パルシステム神奈川 循環型社会

「パルかなコンポスト」

コンポスト学習会を行い、好評につき、LINEオー
プンチャットを活用した「パルかなコンポスト部」
を立ち上げました。コンポストに関心がある方な
ら誰でも参加でき、最終的には47名のグループ
でコンポストについて悩み相談や情報交換を行
いました。



パルシステム茨城 栃木 脱炭素社会

「気候変動ワークショップ」

昨年からの温暖化による気候変動
に関して、「茨城から気候変動を
考える」講演会とワークショッ
プを開催。子どもから大人まで
総勢22名が参加。気候変動の
影響は地域によって大きく異な
るため、いつ、どのような備えが
必要かを、子どもたちチーム、大
人たちチーム分けてカードを使
いながら学びました。



パルシステム山梨 長野 循環型社会

「野菜のおだし ペジブロス」

食品ロス削減についてキッチンから考えてもらいイベント
を開催し、講師に野菜ソムリエプロ・果物ソムリエの藤原
恵里さんをお迎えし、一番身近である家庭のキッチンから
食品ロス削減を考えるた
め、フリージングを活
用した野菜の保存方
法やペジブロスを学
習しました。



パルシステム千葉 循環型社会

「フードドライブ仕分けと食品ロス学習」

食品ロスを削減し、食べ物を必要とし
ている方に活用されるよう、2024年度
で2回目のフードドライブを実施。「家
にある食品以外でできる支援を」とい
う声にこたえた『買って応援! まごころ
セット』も2種類を用意し、たくさん
の方からの参加がありました。



パルシステム静岡 循環型社会

「ビーチクリーン&マイクロプラスチックを
採取してみよう」

美しい海や砂浜を守るため、
清掃活動を通じ、参加者自
身や周りにごみ問題を
意識してもらうきっ
かけになれば開催。
参加者でマイクロプ
ラスチックの採取体
験を行いました。



パルシステム福島 自然共生社会

「水辺の観察会」

夏井川流域ネットワークのみなさんを講師に、県
の環境アドバイザー制度を活用して水辺の観察会を
実施。COD/バックテスト※や伝導率、においや透
視度で水質調査をしたあと、川で水生生物を採取
し、川のきれいさについて調べました。



※水質測定器

パルシステム群馬 自然共生社会

商品展示会で
商品まとめ袋の回収を呼びかけ

商品展示会でパルシステムと関連したエコ・SDGsを
テーマとしたブースを出展しました。牛乳パックと商品
まとめ袋を持ち寄って
いただき、「牛乳パックタワー」
とマトメブクロヒツジに商
品まとめ袋を貼る企画「マ
トメブクロヒツジを救おう」
(写真) などリサイクル
活動と呼びかけました。



パルシステム新潟ときめき 自然共生社会

「ときめき学校～田んぼ～生きもの観察と学習」

新潟市江南区木津で「ときめき学校～
田んぼ」を開催。田んぼやその周
辺に生息する生きものの採取と
観察・学習を行いました。



パルシステム埼玉 脱炭素社会

「温泉で発電ってなあ～に!!」

「温泉で発電ってなあ～に!!」(地熱発電(再生可
能エネルギー))学習会を、埼玉県環境科学国際セ
ンターの濱元栄起さんを講師にお迎えし開催。地
熱発電の方法についても高い圧力が必要なフラッ
シュ方式、低い温度でも発電できるバイナリー方式
があること、地熱発電のメリット・デメリットにつ
いても教えていただきました。

2024年度のTOPICS //

いろんなところで

脱炭素!

2050年CO₂排出量実質ゼロへの挑戦

グループのEVトラックは8台に!

EVトラックとは電気の力で走行する車両で、ガソリンや軽油を使用せず、走行時の温室効果ガスの排出をゼロ※1にすることができます。2023年度よりパルシステム東京、神奈川で導入がはじまり2024年度末までにグループ全体で8台※2のEVトラックが導入されました。

今後パルシステム千葉でも導入を予定しています。

※1 再生可能エネルギーで充電することで走行時のCO₂排出量を実質的にゼロにできます
※2 委託協力会社の保有台数を含む



全国の生協業界初となるEVトラック「ISUZU ELFmio」納車式（パルシステム東京 多摩センター）

廃食油などを再利用した燃料導入でCO₂排出量を最大90%削減

パルシステム神奈川 藤沢センターで廃食油などを再利用した燃料「リニューアブルディーゼル」を試験導入開始。ライフサイクルアセスメントベースでのCO₂排出量を、軽油と比較して最大90%削減することが見込まれます。リニューアブルディーゼル燃料は、従来のディーゼル車両をそのまま使用できるため、追加設備も不要で、スピード感のある導入が可能になります。



将来的にはEVトラックとともに、車両由来のCO₂排出量を削減する大きな手段となることを期待しています。

商品まとめ袋の原料に再生プラ導入

プラスチック原料年間約3トン进行削減

新治セットセンターでセットしているまとめ袋の一部に、再生プラスチック素材の導入を開始しました。これにより新規製造プラスチックの使用量が年間約3トン減少し、CO₂換算で約2トンのCO₂削減に貢献する見込みです。

※年間数量は、2023年度の製造実績をもとに算定しています。
※温室効果ガス排出量はパルシステム生活協同組合連合会が算定しています。算定にはSmartLCA-CO₂®を使用しています

これが商品まとめ袋!



リユース・リサイクル品を戻して

ポイントをもらおう!

牛乳パックなどのリサイクル資源やリユースびんなどを返却すると、パルシステムポイントが付与される申請の受け付けをはじめました。（2026年9月末までの取り組み）

リユース・リサイクルの対象アイテムを返却時に、毎回、指定の6ケタ注文番号を記入するだけ。

※インターネット登録後、スマートフォンやパソコンでのご注文を始められたら、注文番号の「お気に入り」登録が便利です。

参加方法

6ケタ注文番号

135097

いざGO! クリーンな未来に

エネルギー未来アクション

Webサイトオープン

食べ物は産地や製法で選ぶように、パルシステムではエネルギーも「選ぶ」ことができます。産直産地や地域と連携してできも調達しています。「未来アクション」は、現状を知って、行動を起こすことから始まります。さあ、一歩踏み出しましょう。

エネルギー未来アクション

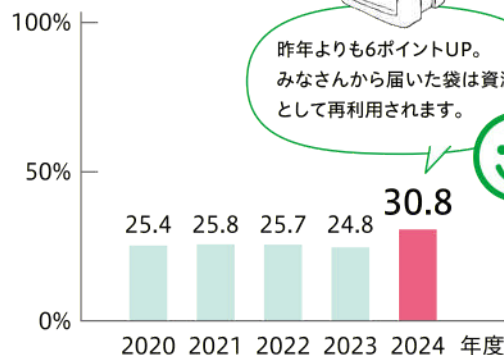
あなたの「やってみる」を投稿しよう。



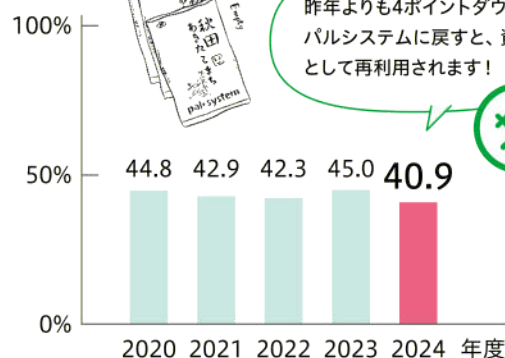
数字でまるわかり

2024年度リユース・リサイクル回収状況

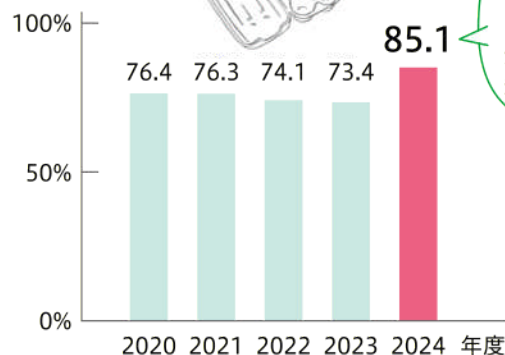
カタログ・商品まとめ袋



米袋

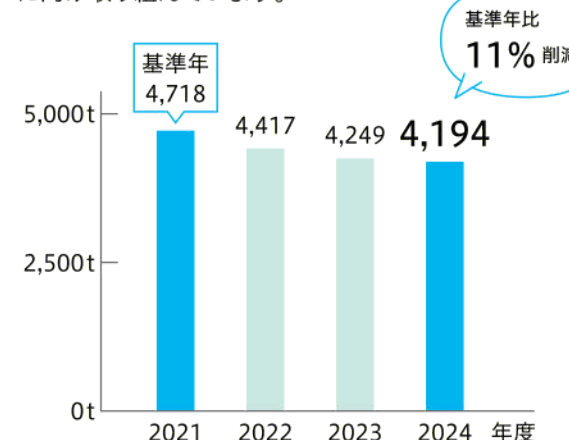


たまごパック



パルシステムで取り扱う商品のプラスチック製容器包装の削減も継続中!

パルシステムでは、2017年に3カ年計画として「プラスチック排出総量削減」の取り組みをスタート。2030年度までに25%削減（2021年度比）の目標に向け取り組んでいます。



2025年度のテーマは

「Thanks Earth! ～地球のために今できるアクション」

一人ひとりが地球に感謝し、できることを考え、行動できるようなアクションをよびかけます。